

37. 主要林産物の生産と消費

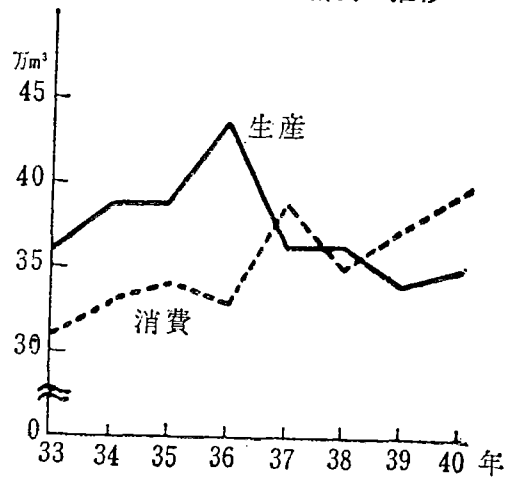
本県の素材生産量は36年以降減少傾向にあったが、昭和40年の生産量は約 35 万 m^3 と若干増加し、県内素材消費量 40万 m^3 の 87.8%を占めている。

薪炭生産量は熱エネルギーの変化にともない逐年減少し、遂に40年は木炭 6 千トン、普通薪 109 万束となった。

竹材は本県林産物の主要な位置を占めているが、37年以降減少傾向にあり、40年の生産量は約44万束で全国第 8 位である。

40年の素材消費量は 40万 m^3 で外材の増加が目立っている。

素材の県内生産と消費の推移



年	素 材 生 産 量 (1000 m^3)						
	総 数	用 途 別					
		製 材 用	パ ル プ 用	電 柱 用	坑 丸 太 用	そ の 他	
昭和 35 年	377	318	37	1	4	17	
36	438	368	37	1	15	17	
37	363	306	35	2	5	15	
38	363	304	34	-	3	22	
39	339	284	37	0	1	17	
40	353	302	31	0	2	16	
		薪 炭 生 産 量					
		木 炭	普 通 薪	し ば 薪	竹 材		
		t	1000束	1000束	束		
昭和 35 年		14 003	1 797	47	695 698		
36		12 992	1 517	253	701 092		
37		12 816	1 657	113	632 403		
38		10 466	1 852	68	540 700		
39		8 239	1 059	68	476 000		
40		5 875	1 089	56	444 900		
		素 材 消 費 量 (m^3)					
		総 数		賃 び き に よ る も の		手 持 製 材 に よ る も の	
		計	(うち) 針 葉 樹	計	(うち) 針 葉 樹	計	(うち) 針 葉 樹
昭和 35 年		336 800	324 700	89 600	83 100	247 200	241 600
36		333 245	...	69 596	...	263 649	...
37		384 400	362 100	65 500	...	318 900	...
38		351 000
39		377 000	...	58 000	...	319 000	...
40		402 000	...	58 000	...	344 000	...